

令和7年度 第6回摂津市立別府小学校 学校運営協議会 議事録

令和8年3月12日(水) 18:30~20:30

出席者:校長、教頭、学校運営協議会委員、PTA役員、学校教育課、コミュニティ・スクール推進コーディネーター

場所:別府小学校 視聴覚室

1. 会長あいさつ

会長より、第6回学校運営協議会の開会にあたりあいさつがあった。

今年度最後の協議会として、学校の近況や次年度の学校経営計画について共有するとともに、委員からの意見交換を通して今後の学校運営に生かしていきたいとの話があった。

2. 学校の様子について

校長より、現在の学校の様子について説明があった。

◇6年生は卒業式に向けた練習を進めており、今年度は5年生も参加する形で実施予定であること

◇歌や呼びかけなどを通して、5・6年生の連携が深まり、良い雰囲気練習が進んでいること

◇年度末を迎え、子どもたちの落ち着きや成長が感じられること

続いて教頭から、写真を用いて学校生活の様子について報告があった。

児童会・委員会活動

代表委員会による挨拶運動、校内スタンプラリーなど児童主体の取組

広報掲示委員会によるビンゴ企画、体育委員会主催のドッジボール大会など

これらの活動を通して、子どもたちが主体的に学校生活を楽しんでいる様子が共有された。

異学年交流・行事

6年生による修学旅行の平和学習発表、1年生による幼稚園児招待企画

見守りボランティアへの感謝の会、6年生を送る会

子ども同士が関わり合いながら学ぶ機会が多く設けられていることが報告された。

学校生活の様子

給食や掃除など日常活動への取組、休み時間の遊びや友達との関わり、

授業への集中した様子

日々の生活の積み重ねが子どもたちの成長につながっていることが共有された。

3. 令和8年度 学校経営計画について

校長より、来年度の学校経営の方向性について説明があった。

本校の教育目標である

「誰もが楽しく幸せに6年間を過ごせる学校」「すべての子どもに居場所がある学校」

を大切にしながら学校づくりを進めていくことが示された。

今年度は、「つながり」「あそび」「子どもが主役」「寛容」をキーワードに学校づくりを進め、児童会・委員会活動の充実、居場所づくり(つながり教室等)、保護者との連携

などの取組を進めてきた結果、

学校生活の落ち着き、「学校が楽しい」と感じる児童の増加、学力面の改善などの成果が見られたことが報告された。

一方で、

教職員の働きやすさ、情報共有や対話の不足、教育活動の系統性などが課題として示された。

来年度は

教職員の組織力向上（4委員会体制の導入）、体験活動やキャリア教育の充実、異学年交流など子どもをつながりを生む取組などを重点として進めていく方向性が説明された。

4. 学校運営協議会としての承認

令和8年度学校経営計画について説明があり、委員より質疑・意見交換が行われた。

主な意見として

朝学習導入の目的、家庭訪問の実施方法、教職員の働き方への配慮、地域人材の活用などについて意見が出された。

協議の結果、令和8年度学校経営計画は学校運営協議会として承認された。

5. 地域連携の取組について

校長より、地域と連携した教育活動について紹介があった。

「べふっこ未来基金」による視聴覚室整備、クラウドファンディングによる資金調達
地域企業と連携したキャリア教育、卒業生による講演
落語家による「人を傷つけない笑い」の授業

これらの取組を通して、地域と学校の連携をさらに深めていくことが確認された。

6. まとめ

本協議会では、子どもたちの主体的な学校生活の様子、令和8年度学校経営計画、地域との連携による教育活動について共有され、活発な意見交換が行われた。

今後も「子どもが主役」「すべての子どもに居場所がある学校」の実現に向けて、学校・家庭・地域が連携して取組を進めていくことが確認された。